

The 78th Summer Awa Ningyo Joruri festival

Re. あわ文化

第78回夏期阿波人形浄瑠璃大会



泣いて、笑って、唸る、今なお受け継がれていく魂の芸能

7月
20 土曜 | 21 日曜
(開場9:00-開演9:30-終演16:20) (開場9:00-開演9:30-終演17:20)

あわぎんホール1Fホール
(徳島県郷土文化会館)

入場料 全席自由 1日券 — 500円

主催：公益財団法人徳島県文化振興財団、公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会、一般社団法人徳島新聞社
後援：四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島 助成：とくしま文化・未来創造支援費補助金

義太夫節メドレー

人形浄瑠璃の名作を、4つの太夫部屋がメドレーでお届けします。

太夫 | (喜笑会)中内鶴昇、南公雄、(友和嘉会)内田美峰、森口和奏、
(友成会)竹本友幸、(友輔会)林寿子、新田光香
三味線 | 豊澤町若、竹本友和嘉、鶴澤友春、鶴澤友輔、木内千陽

傾城阿波の鳴門 十郎兵衛内の段 スペシャルバージョン

徳島で最も多く上演されている「傾城阿波の鳴門」ですが、省略されて、音源も残っていない箇所があります。おつるの懐からお婆さんの手紙が見つかる場面を昨年、阿波路会が新たに節付けし蘇ったスペシャルバージョンをご覧ください。

出演 | (阿波路会)太夫：竹本友和嘉、三味線：鶴澤友勇
人形：あわ工芸座、勝浦座、青年座、とくしま座、鳴門座、ふれあい座、平成座の有志一同

人形浄瑠璃とオペラ

人形浄瑠璃と西洋音楽であるオペラ。二つの芸能を見比べてみると人間の普遍的精神が垣間見えてきます。双方の見どころを集めて上演するスペシャル公演。人形浄瑠璃とオペラからみる愛と哀しみ、ご堪能ください。

出演 | コーディネーター：榊原徹
ソプラノ：小川典子 ピアノ：三村加奈
太夫・竹内雅代(伊達娘恋緋鹿子)、新田光香(曾根崎心中)
三味線：鶴澤友輔
人形：あわ工芸座、ふれあい座

語り芸トーク —かく語りき、芸能の骨格—

伝統芸能の中でも、多くの魅力と可能性を宿す語り芸。聴衆の「聴く力」「想像する力」を呼び起こし、かき立てる芸能です。語り芸の第一線で活躍する演者の皆さまが、その魅力を語り合うこの日限りの特別プログラムです。

出演 | 講談：田辺銀冶
落語：立川晴の輔
浪曲：玉川奈々福
トーク進行：太夫 竹本友和嘉

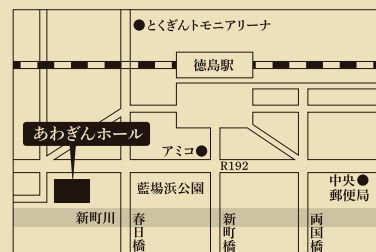


ブレイガイド

- あわぎんホール(電話・窓口)
※あわぎんホール窓口は会館南側新町川沿いの1階にあります。
※車いす席をご利用のお客様は、あわぎんホールにお問い合わせください。
- 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷(電話・窓口)

お問い合わせ

あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) Tel:088-622-8121 E-mail:jigy@kyoubun.or.jp
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 Tel:088-665-2202



近隣駐車場のご案内

あわぎんホールには専用の駐車場がございません。お車でお越しの方は、あわぎんホール東側の「県営藍場町地下駐車場」をはじめ、周辺の有料駐車場のご利用をお願いします。各駐車場は台数が限られておりますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。

- 徳島駅より徒歩8分
- 徳島ICより車で20分
- 徳島空港より空港連絡バスで30分、徳島駅より8分

